『若い力も加わり より良い会に』

Vol.34

東京旭川会 会報 ななかまど

第34号：平成26年（2014）3月18日発行
発　行：東京旭川会　〒234-0053
神奈川県横浜市港南区日野中央
2丁目19-17（西谷内力世）
TEL／FAX：045-843-7673
編　集：東京旭川会広報部会（朝比奈康博）

＊【予告】本年度（平成26年）第38回の総会・懇親会は、10月25日（土）午後6時からです。それに先立ち懇談会は、午後4時から予定しています。

第37回東京旭川会総会・懇親会のご報告

2013年10月19日（土）「第37回東京旭川会　総会・懇親会・懇談会」がハイアット・リージェンシー東京で開催されました。出席者は、来賓を含め140人でした。

↑❶ご来賓の入場とご紹介　❷旭川市長・西川将人氏　❸旭川市議会副議長・宮本ひとし氏　❹旭川商工会議所副会頭・山下裕久氏／東京旭川会　❺高橋照美会長　❻西谷内力世副会長兼事務局長　❼横田茂副会長　❽米陀徳光監事　❾安井規雄新監事

【懇談会】今年は、午後4時から1時間30分間、旭山動物園・坂東元園長の『旭山動物園の未来について』の講演会を実施。（詳細は4～5ページ）

【総会】午後6時、司会を務める横田茂副会長の紹介で、高橋照美会長が議長となり、「平成二十四年度事業報告並びに決算報告の件」「会計監査報告」「平成二十五年度事業計画並びに予算案の件」を西谷内力世事務局長の説明でつつがなく終了。大きな拍手で承認されました。第3号議案「会長・監事の選任」の中で、植木宏昌監事の後任として安井規雄が選任されました。

【懇親会】加藤桂子副会長の先導で来賓が入場。岩垂由紀子幹事の司会で、満場の拍手の中でご紹介。高橋照美会長の挨拶のあと、西川将人市長から、「先日初雪が降り、大雪山も雪で覆われました。スタルヒン球場にナイター設備ができ、6月と8月に公式戦4試合が行われました。第4回の食べマルシェには雨にもかかわらず約80万人にお越しいただきました。昨年から戻り始めたサケが今年も徐々に戻ってきています。駅南のガーデン、駅前広場の整備、11月のクリスタル橋の開通など、皆様方が誇れるふるさとになりますよう努力を重ねますので、変わらぬお力添えをよろしくお願いします」とのご挨拶をいただきました。

続いて、宮本ひとし市議会副議長の「11月のクリスタル橋の開通で市内の交通が飛躍的に便利になります。東京旭川会の皆様にもぜひ旭川の発展の様子をご覧いただきたい」と元気にご挨拶され、大きな声で「乾杯！」。

今年も出席会員及び来賓を地域別に8グループに分けました。出身小・中学校が書かれている大きなネームカードがきっかけで、すぐに打ち解けることができるようです。昔話を含め、会員同士の会話が盛り上がりました。3年目となりますが、徐々に顔なじみも増えてきたようで、いいシステムと皆さんからも評判がいいようです。グループ別に集合写真も撮りました。

今年は東京旭川会の「若い力」が5名も紹介され、それぞれが抱負を述べ、注目を浴びました。その後、三井尚美幹事と木島英人幹事の新コンビによる進行で、「大抽選会」がスタート。賞品も多く大変盛り上がりました。（これら詳細は、2～3ページを）

午後8時、旭川商工会議所・山下裕久副会頭の万歳三唱の後、横田副会長が、東京オリンピック・ゴールドメダリスト吉田義勝さんからの東京旭川会へのお礼のメッセージを代読され、お礼の辞とし、お開きとなりました。

高橋照美 会長からのメッセージ
東京旭川会が目指すもの

東京旭川会は「旭川出身者または旭川にゆかりのある者」を会員として、会員の親睦の為にいろいろな活動をしていますが、現在5つの部会を設置して運営しています。総会・講演会の企画・運営を担当する総務部会、会報「ななかまど」の発行など広報を担当する広報部会、ゴルフ会、散歩の会などの親睦行事を担当する親睦部会、郷土訪問の旅をはじめ、旭川市の関係団体、協賛企業、北海道ふるさと会連合会関係を担当する郷土部会、会計を担当する会計部会です。それにホームページに関する事項や各部会の連絡、調整を担当する事務局があります。幹事の皆さんは、それぞれ部会に所属し、月に1回の幹事会に出席して部会活動に関する打合せを行います。

これらの活動は、幹事の方々のボランティアによって支えられていますが、会社生活、家庭生活の上で、時間の制約があって、難しい、特に若い世代では難しい問題があるのが現状です。

そうした状況の下で昨年、東京旭川会の中に若い世代の人達を中心にした会ができたことは、非常に喜ばしいことです。東京旭川会が、若い世代を含めた広い層の人達を会員として、より大きく発展していくことを願ってやみません。「ななかまど」が、そうした東京旭川会の活動を告知して、新しい会員の参加が生まれることを期待したいと思います。

第37回 懇親会の様子

小・中学校別のグループ分けは、今回で3回目。小学校名、中学校名を書いた大きなネームカードで、初参加の方も子供の頃の共通の話題が見つかりよかったと、とても好評でした。徐々に顔なじみができてきたようで、どこのグループでも会話が弾んだようです。後半は、自由に交流していただきました。

来賓テーブルでは、旭山動物園の坂東園長と交流されたり、市役所幹部と話をされたり賑やかでした。

青

神楽小、神居小、青雲小、日章小、神楽中、神居中、聖園中。グループリーダーは奥山好美幹事。「名札で地区名を確認。共通の懐かしい知人や商店の名前を話題に思い出話に花が咲きました」

↑旭川市が提供してくれた南瓜・じゃがいもを使ったホテルの特別料理に「美味しい」とつい顔がほころびます。

黄

北鎮小、春光小、大有小、大町小、北光小、北星中、六合中、北門中。グループリーダーは山崎正之幹事。「〝寒く美しき旭橋を渡り富貴堂に向う〟が共通の思い出。ほろ酔で再会誓う」

➡旭川の物産を中心にした抽選会は大盛り上がり。1等賞は「優佳良織」の立派な額が2本。

緑

中央小、日章小、常盤中。グループリーダーは河原惟臣幹事。「ほとんどが常盤中の同窓生で、顔なじみが多い。商工会議所副会頭の山下さんが来てくれ、最新旭川情報も話してもらいよかった」

橙

東五条小、正和小、明星中。グループリーダーは高木宏明幹事。「明星中学校及び北高の出身者が比較的多いグループで顔なじみの方も多く、久しぶりの再会に皆さん楽しげでした」

会場・グループ別配置図

来賓テーブルも作りました。西川市長をはじめ、市の幹部、坂東園長が会員と交流しました。

東京旭川会の「若い力」「ハレロイ会」って何？

「HAREROI」という名称は、旭川観光大使の元K－1戦士の安廣一哉氏が発案。「熱く生きろ～」という意味の若手の会です。「旭川出身の有望な若手をサポートし、東京旭川会を私たち若手自身が盛り上げて旭川の発展に少しでも貢献したいという気持ちで結成しました。口コミで徐々に人数が増えています。結構真面目に話し合い、そして時々お酒も。楽しいですよ。一緒にやれる若手会員を募集中です。お待ちしています。ご一報ください」

↑右から幹事になった新田大輔さん、伊藤憲宏さん、大沼健哉さん。

元K-1選手で、現在中高一貫校で保健体育教師

安廣一哉さん（37歳）

「東京旭川会の皆さん、初めまして！ 観光大使 安廣一哉です！ この度東京旭川会の37回目になるこの会に37歳の僕が初めて参加させてもらいました。これも何か運命的なご縁を感じています。僕の元気が愛する旭川に少しでもプラスになれば、嬉しく思います。K-1という格闘技の世界でいろいろな国の選手と拳を交え学んだことは、志、気持ちが本気なら目の色、肌の色などに関係なく相手に伝わるんだ、という事です。何事も本気で向かって行きましょう！」

⬆開会前に関連記事を拡大した『壁新聞』を熱心に読む会員。旭山動物園関連、昨年のテーマ「三姉妹駅」関連、元会長・八木祐四郎さんの碑、金メダリスト・吉田義勝さん、東京オリンピック関連記事など盛りだくさん。

水

日新小、大成小、朝日小、旭川中、北都中。グループリーダーは小松仁志幹事。「多士済々。幅広い世代の旭川市中心部出身の元シティボーイ・ガールが集い大いに盛り上がりました」

ピンク

啓明小、朝日小、東町小、光陽中、東光中、愛宕中。グループリーダーは大場孝仁幹事。「胴着を着た観光大使の安廣さんが場の雰囲気を盛り上げてくれ会話が弾んだ。懐かしい昔話にも花が咲く」

⬅今年は、ご出席の旭川観光大使が壇上へ。自己紹介をしてもらいつつ、抽選のお手伝いを。

➡旭川観光大使の北の富士さんが、お忙しい中を短い時間でしたがおいで下さいました。

白

東川、東神楽、当麻、東鷹栖、愛別、比布、上川などの旭川市の周辺町の方々。グループリーダーは安井規雄幹事。「旭川市周辺の町出身者がほとんどのため、ローカルな話題で盛り上がりました」

⬆ほとんどの人がお開きまで残ってくださいました。旭川産「ゆめぴりか」などのお土産をもらってニコニコ顔で家路に。次回もどうぞお越しください。

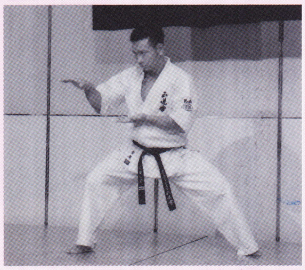
赤

江丹別、東鷹栖、雨粉、富良野、及び道内各地、道外ご出身者の方々。グループリーダーは澤田研一幹事。「西川市長や坂東園長が加わり、旭川の地元情報や講演の続きに会話が弾みました」

旭川出身の映画監督・脚本家　鈴木聖史さん（36歳）

前作「ある夜のできごと」（2011年全国5館で公開）の旭川での上映会は、地元の同級生たちの手によって実現しました。この上映をきっかけにスタートした旭川映画「ホコリと幻想（仮）」は、現在、映画プロデューサー片岡公生さんと共に4月撮影に向け準備中です。今後は、主要キャストの選定、資金集め、ロケ地の決定へと進んでいきます。実現に向けて成長を続けています旭川映画、是非、応援をお願いします！

⬆「二足の草鞋ですが、皆さんの応援を糧に頑張ります」



⬆空手の「征遠鎮」という型。空手の型は縁起物でお祭り等で披露します。

➡初めて参加させてもらい、自己紹介！

旭山動物園・坂東園長講演『旭山動物園の未来について』

《主催者側からのお断り》坂東園長には約1時間半にわたり丁寧にお話いただいておりますが、紙面の都合上、省略を含め、表現上シンプルにせざるを得ない部分もあります。また、説明をコラムにまとめたところもあります。ご了承いただけましたら幸いです。

↑80名の席がほぼ一杯になりました。全参加者の半分以上が参加した計算です。大画面で普段見られない写真や映像を見せていただきました。

動物とお客さんのかけ橋に

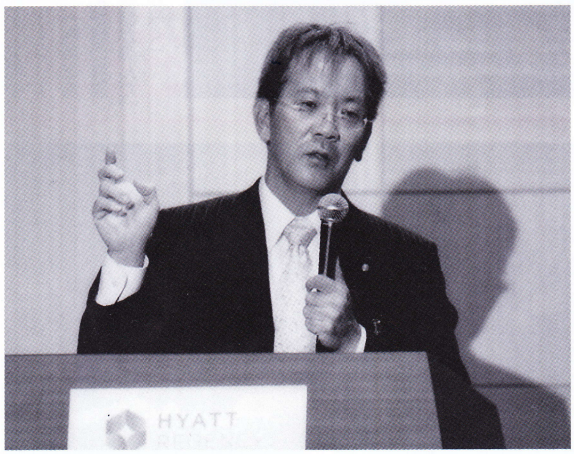
「たくさんの方の応援を得て、旭山動物園もやっとここまで来たなと思います。東京旭川会の皆様にはいつも応援いただき感謝しています」と話された後、30年くらい前の閉園の危機から、5～6年前のピーク時、そして現在までの旭山動物園の苦労話もしていただきました。「私たちは素晴らしい動物を飼育しているのだから、動物の魅力をきちんと言葉で伝えることで、動物とお客さんのかけ橋になりたいとの思いで今日まで来ています。それが旭山動物園の原点です。『行動展示』もそのようなかけ橋の一つかもしれません。新しいきりん舎・かば館もぜひ見に来て下さい」とお話しいただきました。

オランウータンの話をしましょう

雑談っぽくなるかもしれませんが、オランウータンはおもしろいので、と貴重な画像と動画を見ながらお話しいただきました。「ボルネオオランウータンを飼育しています。彼らもまた素晴らしい動物ですが、絶滅危惧種です。観察すると本当におもしろい。オランウータンは考えてから行動します。やってから考えるチンパンジーとはまったく性格が違います。それは群れずに単独で行動するからかもしれません。執念深いというか、とにかく集中力がある。上半身がめちゃめちゃ強く、指1本で100kg以上の体がぶら下がっても全く問題がありません。すごい動物です。生活のほとんどを森の木の上でするので、オランウータンは、マレー語で『森の人』という意味です」。

オランウータンの繁殖に成功

「オランウータンは実は繁殖が難しい動物ですが、何とか成功しました。旭山動物園のお父さん（ジャック）とお母さん（リアン）の出会いから信頼し合うまでの様子や自分の意思で相手とコミュニケーションを取って認め合う姿は人間が見ていてもすごいことだと思います」。そして妊娠、出産、生まれた長女（モモ）の子育ての悩みで母親の引きこもりやその後の子供教育まで一般には公開していない観察映像で、



↑ボルネオ島の熱帯雨林に日本から何かの形で「恩返し」がしたい。この活動を通じてONGAESHIを世界共通の言葉にしたいものですね。

『恩返しプロジェクト』始動 ONGAESHIを国際語にしたい

ボルネオ島の熱帯雨林に日本から「恩返し」がしたい

ボルネオ島の熱帯雨林は「豊かな自然」のイメージが強いのですが、実際には森林伐採、パーム油生産のためのアブラヤシ農園への転換が進み、運搬するための道路が作られ、野生動物の生息地が分断されつつあります。野生動物はすみかを追われています。熱帯雨林の減少が止まらないのです。ボルネオオランウータンやテングザルなどは絶滅危惧種とされています。また、距離を置いて暮らすボルネオゾウは時には農園に迷い込み、害獣として殺されることもあります。貴重な野生動物の故郷を何とか守りたい。

森林破壊はいけないというのは簡単ですが、一方で日本はパーム油をマレーシアから大量に輸入しています。それは国民が一人当たり約10㎡のアブラヤシ畑をもっているような計算となります。パーム油からは、菓子、粉ミルク、洗剤、即席麺などが作られ、日本人は恩恵を受けています。現実には、パーム油で日常の生活を支えてもらっています。坂東園長は「私たちが、ボルネオから奪ったものを何か形で返せる仕組みを作りたい。野生動物の命を預かる動物園にとって、その故郷を守ることは新しい使命だ」と語る。

＊

マレーシア・ボルネオ島北東部のサバ州のサバ州野生生物局（SWD）では、①生息地をつなぐ「ボルネオ緑の回廊」は、川の流域に点在する保護区と保護区の間の土地（2万ha）を確保し、野生動物が自由に移動できるようにする壮大な事業②プランテーションや村民から苦情が出ているゾウを捕獲して、車で保護区まで運び、森に戻すトランスロケーションを行う③野生生物レスキューセンターの設立などの保全政策を取っています。

＊

2010年2月、旭川市旭山動物園とサバ州野生生物局（SWD）の「ボルネオの生物多様性保全に関する合意書」の調印式が、西川市長の立会いの下、旭山動物園で行われました。その

2013.9.15 北海道新聞

旭山動物園支援の施設 19日開所

ボルネオゾウ保護 本格化

一時飼育し自然に戻す

野生生物レスキューセンターの活動イメージ

坂東 元さん

毎日新聞 ひと

↑上の記事は、2013年9月15日付の北海道新聞記事。旭山動物園が支援する「野生生物レスキューセンター」の開所について分かりやすく説明。下の記事は、2013年7月11日付の毎日新聞「ひと」欄。日本からの「恩返し」ONGAESHIを国際語にしたいと語る。ぴったりの英語がないんです。ケニアのワンガリ・マータイさん（ノーベル平和賞受賞）によって世界共通の言葉になった「もったいない」MOTTAINAIのようにしたいものですね。

たっぷり30分間説明いただきました。お父さんオランウータン独特のしぐさや恋の駆け引き場面などで**「やっぱり男は背中だな～」**と坂東園長が述懐すると、会場内にはどっと共感の笑いが広がりました。その後、長男が生まれ長女が抱っこして子守りをする様子などたっぷり映像で説明を受け、出席会員は大満足の様子でした。

⬆ボルネオ北東部に生息するボルネオゾウは推定2000頭。いま様々な脅威にさらされています。

「恩返しプロジェクト」始動

「動物園は、生きものを飼育しています、預かっている命に対してどのような責任を果たし、恩返しができるかをいま模索しています」と話をされ、映像で「恩返しプロジェクト」始動について熱っぽく語っていただきました。オランウータンの吊り橋、旭山動物園がマレーシア・ボルネオ島北東部のサバ州のサバ州野生生物局（SWD）に贈った運搬用のゾウの檻、「野生生物レスキューセンター」の完成の様子など、映像を駆使して詳しく説明いただきました。こういうことは、動物園だからこそできることなのかもしれません。（ボルネオの熱帯雨林及び「恩返し」の内容は下記にまとめました）

これからもたくさんの人たちにご支持をいただけるように頑張って参ります。東京旭川会の皆さんにもご支援いただけますようよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

⬆司会進行の西谷内力世副会長兼事務局長。

司会（西谷内）：なかなか見る機会のない映像を見せていただき、詳しいご説明をいただきありがとうございました。「恩返しプロジェクト」にも大変感銘を受けました。東京旭川会として少しでもお役に立ちたいと考えまして、会員の皆さまから支援募金のご協力をお願いいたします。また、本の売り上げの一部をBCTジャパンに寄付したいと考えます。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

《報告》本は50冊が完売しました。後日、募金と合わせ、合計533850円を東京旭川会として寄付させていただきました。ご協力感謝いたします。

プロジェクトの具体化の一つとして「野生生物レスキューセンター」が9月19日に開所しました。サバ州野生生物局の職員が農場に迷い込んだゾウを捕獲し、センターで一時保護しながら他のゾウの生息域と重ならないすみかを探して熱帯雨林に返す事業を行うというものです。センターは今後、研究所なども設けられ、オランウータンなど他の野生生物保護にも取り組む。旭山動物園は引き続き技術支援などで事業に協力していく方針。

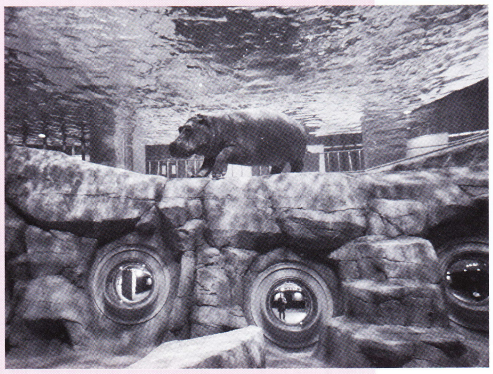
＊

坂東園長は、NPO法人「ボルネオ保全トラスト（BCT）・ジャパン」の理事として「恩返しプロジェクト」を率いています。「恩返しプロジェクト」は、売り上げの一部が寄付される専用自動販売機（キリンビバレッジの協力）の設置呼びかけや市民、企業から集まった寄付金や旭川市からの拠出金などで成り立っています。

旭川市では、小学生が自分たちの暮らしとボルネオのつながりを学んでいますので「恩返し」の意味も知っています。特別なことをしなくても、旭山動物園に行って、喉が渇いた時にこの専用自販機でジュースを1本買えば、オランウータンやボルネオゾウを助けることになることを知っています。

「将来は、旭川のこの子たちをボルネオ島の現地に連れて行ってみたいと思っています」と坂東園長は語ります。ONGAESHIを世界共通の言葉にしたいものですね。

⬆旭川市旭山動物園の監修で作られた『旭山動物園ARどうぶつ図鑑』は、定価：本体1900円、東京書籍刊。スマートフォンをかざして、動物の映像などを見ることができる初めての本です。



⬆百吉が深い水底に降りてきて、一蹴りで飛び上がる姿が見られるかもしれません。

「きりん舎・かば館」がオープンしました

昨年11月21日、旭山動物園に大型施設「きりん舎・かば館」が新たに開園しました。マスコミにも注目されていますので、テレビや新聞でご覧になった方も多いと思います。

きりん舎では、2頭のキリンが長い首を優雅に揺らしながら走ったり、舌を伸ばして餌をたべたりする姿を間近に見ることができます。

かば館では、高低差がある巨大なプールで、カバが水中を自由に動き変わる姿を、上や下、さらに横からとさまざま角度から見ることができます。なお、カバは水中でふん尿をするため、水のろ過装置を工夫するなど、高い技術が結集されています。

百吉が、吉をもたらしてくれますように

まだ2歳のカバの百吉（ももきち）は、好奇心が旺盛で、やんちゃな性格で、おもしろい。成長が楽しみです。今年は馬年ですが、カバは漢字で「河馬」と書きます。百吉の名前のとおり、来園される皆さんに、たくさんの「吉」をもたらしてくれますように。

➡キリンの引っ越しは一番難しい仕事でしたが、何とか無事にできました（坂東）。

旭川市の「若い力」

旭川市の「こうほう旭川市民 あさひばし」1月号に『挑戦する子供たち』という大特集がありました。目を輝かせて好きなことや得意なことに熱中し、努力している子供の姿は、大人にも勇気や希望を与えてくれます。今回の特集には、旭川市の「若い力」が数多く取材されており、力強さを感じましたので、一部転載させていただき、東京旭川会の皆さんにお知らせしたいと思います。

「盛岡短歌甲子園」で日本一！

↑「大会」の幟の前で決選前の記念撮影。左から、渡邉暉生さん、山本麻依子さん、野崎花純さん。

旭川駅構内の〝石川啄木歌碑像〟が除幕されたのは、2012年4月13日の石川啄木没後100年のご命日の日でした。その翌年2013年8月、啄木の故郷・盛岡市で開かれた「全国高校生短歌大会」（盛岡短歌甲子園）で全国から出場した36校と競い、見事初優勝したのが「旭川商業高校 文芸部」の3人です。「先輩が進出したベスト8までは進みたい」と臨んだ今回、一戦1戦順調に勝ち進み、短歌の名門・秋田高校との決勝戦で1対1の同点の後、最後の1首で優勝が決定。「いまの自分を、ありのままに表現しよう」との思いが優勝へ導いた。

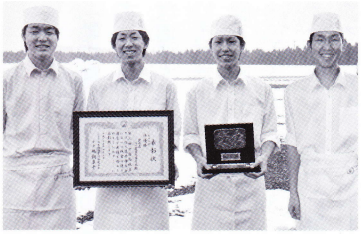
3年生の渡邉さんと山本さんは「卒業後も短歌を続ける」ときっぱり。シード権を獲得した同高は、新3年生の野崎さんを含めた新チームで今年も出場する。頑張ってください。

↑「短歌日本一」の立派な賞を獲得！左から山本麻衣子さん、渡邉暉生さん、野崎花純さん。

全国高校生そば打ち選手権大会で準優勝

負けた悔しさをばねに猛練習

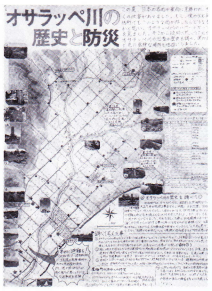
旭川農業高校の4人。2013年4月、東京ビッグサイトで開催された全国から11校が参加した大会に初参加で、見事準優勝。4人一組で工程を分担し、作業の正確さや出来上がりの品質を競う。与えられた時間は一人10分。チームワークが一番大事。心をこめてそばを打ちながら、改めて食べ物の大切さを実感したという。おめでとう。


↑左から「こね・練り」の高橋広希さん、「のし」の辻村敬介さん、「水回し」の藤中大地さん、「切り」の佐藤斗輝雄さん。前の3人は「次の人が作業しやすいように」と神経を集中し4人目の佐藤さんまで万感の思いでつないだ。

「私たちの身の回りの環境地図作品展」で最高賞

環境地図教育研究会の主催で、小学～高校生を対象に平成3年から毎年開催。平成25年の作品展で、39校1819点の中から、最高賞（国土交通省国土地理院長賞）を受賞。タイトルは、「オサラッペ川の歴史と防災」。大雨が降るとオサラッペ川はどうなるかが研究テーマ。

北海道教育大学附属旭川中学校1年生 **山崎瑚太郎**さん



↑鷹栖町の郷土博物館で氾濫の歴史を調べ、自らの足で綿密に調査、地図に落とし込んだ秀作。

このほかにも「若い力」がいっぱい

↓「自然を観察するのが楽しいから、将来は自然に関する仕事をしたい」と山崎さん。

全国高等学校選抜スキー大会で3位
スキージャンプ、世界の舞台で思いっきり飛びたい。
旭川龍谷高校2年生 **勢藤優花**さん

＊

全国中学校水泳競技大会 女子自由形200mで3位
狙うのは、いつでも一番。
永山南中学校2年生 **髙橋美来**さん

＊

全国少年少女レスリング選手権大会3位
吉田沙保里選手みたいになりたい。
西御料地小学校1年生 **神田莉菜**さん

＊

将棋日本シリーズテーブルマーク こども大会（北海道大会）で優勝
将来の夢は、姉弟でプロ棋士。
東五条小学校3年生 **村上創音**くん

全道珠算競技大会 小学校4年生以下の部で優勝
頭の中のそろばんで、正確に計算。
全道から340人が参加した競技大会。うち小学校4年生以下の部は87人。
共栄小学校4年生 **竹内海晴**くん
現在そろばん3段、暗算8段、フラッシュ暗算9段

＊

全道中学軟式野球大会で優勝
全員野球で勝ち取った優勝。
同大会には27チームが参加。
神楽中学校 **軟式野球部**

旭川市出身力士の「若い力」

若手の旭川市出身力士が大相撲の世界で3人も頑張っていることが分かりましたので、「若い力」としてこのコーナーで紹介します。早く関取になって活躍できるように、若いうちからみんなで応援しましょう。

☆しこ名：旭大星（きょくたいせい） ☆部屋：友綱部屋 ☆年齢：24歳 ☆戦績：137勝106敗（36場所） ☆1月場所：幕下東23枚目 5勝2敗 ☆出身高校：旭川大学高校卒業（今回は直接取材ができませんでした。写真は日本相撲協会から提供）

旭大星は、友綱部屋では上から5番目の力士。先輩には最年長優勝でも有名な旭天鵬関がいる。1月場所で勝ち越し。いよいよ幕下上位で3月大阪場所を迎えます。関取になる日も近い。旭川出身で「旭」が付くのは嬉しい。

この二人は北の富士さんの孫弟子です

八角親方は第61代横綱の北勝海さん。北勝海さんの親方は、皆さんおなじみの旭川観光大使でNHK相撲解説者の北の富士さんです。ですので、この若い二人は北の富士さんの孫弟子に当たります。「北の富士さんは部屋に来られるたびに私たちにまで声をかけていただけるのでありがたいです」とのこと。八角部屋の先輩には、前頭上位の隠岐の海関がいます。

二人は旭川市春光台の柔道道場で一緒に稽古をしていた時代があった。当面の夢は「早く関取になることです」と声をそろえる。楽しみです。

☆しこ名：中野（なかの） ☆年齢：20歳 ☆出身校：東五条小学校、明星中学校、旭川龍谷高校 ☆1月場所：序二段 西87枚目 2勝5敗（初土俵：2012年3月）

☆しこ名：掛橋（かけはし） ☆年齢：19歳 ☆出身校：北光小学校、春光台中学校、旭川大学高校 ☆1月場所：三段目 西27枚目 2勝5敗（初土俵：2013年3月）

旭川市出身のスノーボード選手 竹内智香さんソチ五輪で大活躍！「大回転」で初の銀メダル獲得！

「旭川には年に何度も帰れませんが、たくさんの地元の方に応援してもらえて本当にうれしいです。良い色のメダルを持ち帰って、皆さんに喜んでいただきたいですね。結果だけを求めるのではなく、どんな状況でも平常心で一本一本の滑りを積み重ねていけば、表彰台が見えてくると思います」と「あさひばし」1月号の中で笑顔で語っていましたが、その言葉が見事に実現しました。竹内智香さん、銀メダル獲得本当におめでとうございました。

⬆竹内智香選手の出身校は、地元の旭川市立旭川第3小学校、旭川市立東明中学校です。

故八木祐四郎さんの記念碑除幕

日本オリンピック委員会（JOC）前会長で、長野五輪の選手団長も務めた故八木祐四郎さん（2001年死去）の記念碑の除幕式が、八木さんの十三回忌に合わせて、2013年9月8日（日）、JR旭川駅近くの宮前公園で行われた。この日は奇しくも「東京オリンピック2020」の決定の日。「日本スポーツ界と五輪の懸け橋として尽力された八木さんが、天国からオリンピックを東京に呼び寄せたのではなかろうか」という喜びの声が会場では数多く聞かれた。

八木さんは、1986年～2001年までの15年間東京旭川会の第2代目の会長として大変お世話になりました。1980年2月19日に東京旭川会でバーサーロペットの大会を初めて提言し、1981年に「旭川国際バーサー大会」として第1回が実現。本年で第34回目を迎えるこの大会は八木さんを抜きには語ることはできません。

⬆八木さんは、東京旭川会の第2代目会長。記念碑建立に東京旭川会は幹事を中心に協力しました。

金メダリスト 吉田 義勝さんから東京旭川会へのお礼のメッセージ

「皆さんのお力が2020五輪東京開催とレスリング競技継続を決定させました！ ありがとうございました」

皆さんの署名活動へのご協力とご声援のお蔭で日本レスリング協会全体に90万通超の署名が集まり、それが後押しとなって2020オリンピック東京開催とレスリング競技の継続が決定致しました。

旭川は日本一の金メダリスト数を誇る都市でありますので、6年後のオリンピックでは今一度旭川の底力を発揮するように若い人達を応援して町興しに繋げていきたいものだと思います。

旭川市観光大使　吉田義勝
（東京旭川会　幹事）

クリスタル橋が開通

昨年11月1日、市中心部と神楽地区を結ぶクリスタル橋が開通しました。

市内中心部と駅南部の神楽地区は、忠別川及びJR軌道により分断されていましたが、神楽地区には「大雪アリーナ」「クリスタルホール」といった文化施設が多く、橋の開通に合わせて「道の駅あさひかわ」もリニューアルオープンされました。市内中心部から歩いて行けることによってとても便利になりました。観光客にも喜ばれると思います。

駅前広場が7月上旬にオープン

駅前広場ができ、いよいよ「北彩都あさひかわ」の完成期となりました。東京旭川会としましても心よりお祝いを申し上げます。そのタイミングに合わせて『郷土訪問の旅』を検討中です。会員の皆様、一緒にいかがですか。詳細が決まり次第ホームページに要項を掲載いたします。

あさっぴーが「ゆるキャラグランプリ2013」で全国37位、全道3位に躍進！

皆さんおなじみの旭川市の公認キャラクター「あさっぴー」が、昨年のゆるキャラグランプリ2013で1580キャラ中の全国37位と大躍進。（ちなみに、1位は栃木県・佐野市のラーメンキャラ「さのまる」）「あさっぴー」は、買物公園や仙台への物産店出張の際の選挙活動などの頑張りがよかったのかも。「今年はもっと上位を目指して頑張ります。応援してね！」

⬆「あさっぴー、東京旭川会に来てね」という会員の声多し。

「第26回郷土訪問の旅」と「お楽しみ会」

昨年6月3日から8日まで、現地集合・解散方式にて高橋会長、西谷内事務局長を含め合計14名で「第26回郷土訪問の旅」を実施。3日、道内の屋外球場で初のナイター設備が設置されたスタルヒン球場で、ナイターこけら落としの日ハム戦を観戦。応援の甲斐あり見事勝利。

翌日、旭川市ご手配のマイクロバスにて移動。晴天の下、嵐山でのパークゴルフ大会と大雪窯の陶芸体験。当会の為に特別に開放いただいたサンタプレゼントパークの「ニコラス展望台」からのパノラマ眺望を堪能。旭山動物園内のモグモグテラスでは、岡田副市長にご出席いただき昼食会。恒例の「旭川啄木会」の皆さんや旭川市役所関係者との交流懇親会と、盛りだくさんの予定を楽しみました。最終日、会員各位の母校が奏でる軽快なマーチの「音楽大行進」は有終の美を飾るにふさわしいイベントでした。

また、会長以下幹部が地元企業訪問。総会時の賞品・お土産提供の協力についてお礼を申し上げ、今後の協力をお願いしました。

⬆東京旭川会10周年の記念植樹「オンコの木」は、26年で立派な木に育っていました。

➡大雪山が見えるスタルヒン球場のナイター観戦は寒かった。日ハム・マスコットのB・Bも来てくれて、皆で記念撮影。

⬆旭川観光コンベンション協会の皆さんに教わり、初めての人でもできるパークゴルフは楽しく、地元の皆さんといい交流になりました。

東京における「お楽しみ会」

会員の親睦を図る「お楽しみ会」を用意しています。ぜひご参加ください。

ひとつは、江戸文化から文学まで詳しいガイド役・渡辺功一さんにご案内いただく年2回の「散歩を楽しむ会」。毎回テーマを決めて、午後2時から夕刻の打ち上げまで解説を聞きながらゆっくり歩きます。男女どなたでも楽しめます。もうひとつは、やはり年2回のゴルフ会。徐々に参加者も増え、5組前後で楽しんでいます。春は5月8日（木）を予定。

いずれの会も、ホームページをご参考に、事務局へお問い合わせください。

⬆昔、松井秀喜さんが巨人時代に通った神楽坂「モー吉」で「散歩を楽しむ会」の打ち上げ。

＊東京旭川会のホームページを開設しました。【東京旭川会】と検索すると見られます。今後、当会の行事や旭川市の情報などを随時お知らせいたしますのでご覧ください。

第37回 東京旭川会総会・懇親会 出席者一覧（順不同）

東京旭川会の役員構成

■名誉顧問　原　公朗
■会　長　高橋　照美
■副会長　加藤　桂子
　　横田　茂
■副会長・事務局長　西谷内　力世
■副事務局長　海老澤　美智子
　　奥山　好美
　　並河　典子
　　三井　尚美
　　山原　正博
■事務局　岩垂　由紀子
　　木島　英人
　　杉本　一美
　　新田　大輔
　　山川　智
　　野作　雅章
■会　計　伊塚　清
■幹　事　大場　孝仁
　　河原　惟臣
　　小松　仁志
　　佐藤　幸博
　　澤田　研二
　　高木　宏明
　　東出　康宏
　　松浦　啓智
　　宮川　秀史
　　山崎　正之
　　吉田　義勝
　　和田　睦夫
■監　事　安井　規雄
　　米陀　徳光
■相談役　朝比奈　康博

【ご来賓】
◆旭川市……西川　将人様
◆旭川市議会副議長……宮本　ひとし様
◆旭川商工会議所副会頭
（一社）旭川観光コンベンション協会会長……山下　裕久様
◆旭川市総合政策部長……長谷川　明彦様
◆旭川市経済観光部長……佐々木　恵一様
◆旭山動物園園長……坂東　元様
◆旭川市議会事務局議事課長……津村　利幸様
◆旭川商工会議所企画総務課長……鈴木　英男様
◆旭川市総合政策部秘書課主査……草野　健一様
◆旭川市総合政策部秘書課……前多　孝美様
◆北海道ふるさと会連合会会長……森　隆信様
◆㈱北海道新聞社東京支社……横山　聡様
◆報道センター長
◆㈱サツキ工芸代表取締役社長……佐々木　雄二郎様
◆㈱東京キョクイチ代表取締役……綱元　靖様
◆サッポロビール㈱首都圏本部
◆法人営業部専任部長……手島　孝雄様

【出席者】❖は旭川観光大使の方です。（敬称略）

あ
朝倉　隆司
浅沼　雄太
朝比奈　康博❖
荒川　繁
石神　絢夫
板岡　功雄
伊藤　京子
伊藤　憲宏
猪瀬　英雄❖
今津　寛史
岩垂　千恵
岩垂　由紀子
岩渕　清司
植木　宏昌
浦木　勲
海老澤　美智子
遠藤　哲
大西　幸男
大沼　健哉
大野　富美子
大場　孝仁
大屋　道夫
岡崎　友典❖
奥山　好美
小柳　弘子

か
片桐　紀恵
加藤　桂子
加藤　文哉
金子　登
川西　勲
河原　惟臣
木島　英人
窪田　敬昭
熊野　勝文
小林　信雄
小林　良正
小松　仁志
近野　光佑

さ
伊藤　千鶴子
齋藤　弘明
酒井　典子
櫻井　悠
佐々木　雄二郎
佐藤　健司
佐藤　みき
佐藤　安弘❖
佐藤　幸博
澤田　研二
嶋村　輝郎
清水　弘美
白倉　伸也
杉本　一美
杉本　隆利
鈴木　聖史
鈴木　啓正
瀬川　信幸
宗万　裕❖

た
高木　宏明
高橋　照美
高橋　文子
滝沢　章子
竹澤　勝昭❖
田中　ひとみ
田中　松美
丹保　冬司夫
玉田　哲郎
綱島　正寛
綱元　靖
寺島　喜久男
寺島　信寿

な
内藤　ひろみ
内藤　裕子
中川　哲雄
中西　惠久子
中野　年
中村　園
那須　利雄
並河　典子

は
西谷内　力世❖
新田　大輔
野作　雅章
長谷川　明子
長谷川　文典
畠山　博文
林　秀一
原　公朗
原　卓徳
原田　寛
東木　久代
樋口　嚴
利根川　真智子
土肥　弘通
飛澤　文
佐々木　雄二郎
水口　國雄
水沼　文平
三田　一則
三井　尚美
宮川　秀史
宮下　将和
村上　和雄
森　陽一

や
安井　規雄
安廣　一哉❖
山川　智
山川　雅仁
山崎　正之
山中　公悟
山原　正博
湯佐　富治
横田　茂
横田　雅史
米陀　徳光
和田　昇
渡辺　韶子
平澤　民義
平本　信夫
廣野　貴之
福田　淳一
藤井　邦夫❖
船山　喜美子
堀田　康雄
松倉　一行
松島　蔦
松田　勇三

ま

【ご協賛・ご協力御礼】（順不同）
旭川市
旭川市議会
旭川商工会議所
一般社団法人
旭川観光コンベンション協会
旭川空港ビル㈱
旭川グランドホテル
ハイアットリージェンシー東京
㈱北海道新聞社　東京支社
㈱旭川振興公社
㈳旭川物産協会
㈱サツキ工芸
優佳良織工芸館
オエノンホールディングス㈱
男山㈱
サッポロビール㈱
ニッカウヰスキー㈱
㈱明治
㈱一印旭川魚卸売市場
㈱キョクイチ
㈱藤井
㈱米谷産業
今野醸造㈱
佐賀孝郎商店
㈱須藤製麺工場
藤原製麺㈱
高橋製菓㈱
㈱壺屋総本店
㈱福居製餡所
三葉製菓㈱
㈱ロバ菓子司

【ご寄付御礼】（敬称略）
朝比奈　康博
阿部　紀彰
植木　宏昌
海老澤　美智子
太田　征
大場　孝仁
尾崎　千恵子
加藤　桂子
河原　惟臣
杉本　一美
高井　富美枝
高木　宏明
高橋　照美
高橋　文子
玉田　哲郎
並河　典子
西谷内　力世
野田　明
原　公朗
水口　國雄
水留　英昭
三井　隆志
三井　尚美
安井　規雄
山川　智
山崎　正之
山原　正博
横田　茂
吉田　義勝
米陀　徳光
和田　昇
和田　睦夫

新規会員を募集中!!　お友達、お知り合いの方で「東京旭川会」に関心のある方がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡ください。会報『ななかまど』と入会ご案内をお送りします。

＊【予告】本年度（平成26年）第38回の総会・懇親会は、10月25日（土）午後6時からです。それに先立ち懇談会は、午後4時から予定しています。

編集後記

選手たちの活躍と健闘で日本中が沸いたソチ・冬季五輪。旭川出身のスノーボード選手・竹内智香さんが大回転で見事〝銀メダル〟を獲得されました。とても嬉しいです。

また、五輪といえば、昨年9月8日、JOC前会長として、長野冬季五輪及びシドニー五輪の選手団長を務められた八木祐四郎さんの記念碑の除幕式に参列しました。その日は、奇しくも「2020東京オリンピック」が決定した日でした。竹内智香選手の活躍と合わせてきっと天国で喜ばれていることでしょう。

八木さんは15年の永きにわたり東京旭川会の会長を務められましたが、「若い人を増やして、東京旭川会をもっとよくしよう」と常に言っておられました。昨年若い人達を中心にした「ハレロイ会」が発足したことは誠に喜ばしく、こうした「若い力」が加わって、東京旭川会がますます発展していくことを願って止みません。また、会報「ななかまど」が、より多くの人の交流の懸け橋となることを期待しております。（高橋）

＊＊＊

竹内智香選手の大活躍は、「あさひばし」1月号の中のインタビュー記事を読んで、予感がありました。ここにも旭川市出身の「若い力」がありました。郷土旭川を応援する東京旭川会としてはこんなに嬉しいことはありません。ぜひ、東京旭川会においでいただき、銀メダルを見せていただきたいものです。

大相撲の旭川市出身の若い力士の活躍も見逃せません。力士は稽古と応援で力がつきます。皆で応援しましょう。

旭山動物園・坂東園長の講演の中の「恩返しプロジェクト」は、私たちが旭山動物園のことを誇りに思って話ができる素晴らしい材料です。いいお話をありがとうございました。（朝比奈）